

OKAYAMA UNIVERSITY  
ACADEMIC CAPITAL  
FOUNDATION 2020

令和2年度  
岡山大学学都基金  
活動報告書



岡山大学学都基金事務局  
〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号  
TEL: 086-251-7009 FAX: 086-251-7294  
E-mail: kikin@adm.okayama-u.ac.jp



岡山大学学都基金

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/>





## ご支援へのお礼とお願い

国立大学法人岡山大学長 榎野 博史



平素より、岡山大学学都基金を通じて、本学の教育研究・社会貢献活動に種々ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が世界的に感染拡大し、現在もなお社会に大きな影響を与え続けています。本学でも、感染拡大防止と教育研究活動の安全な継続に向けて、新型コロナウイルス対策本部を立ち上げ、これまで一元的に対策を行って参りました。また、学都基金に新型コロナウイルス感染症関連支援基金を設けて、感染拡大に伴う緊急支援のお願いをいたしましたところ、地域や企業の皆さまをはじめ、卒業生、在学生やそのご家族など多くの皆さまから、多大なご支援をいただきました。いただいた支援金は、困窮学生や留学生への生活支援、大学病院支援や研究支援などに有意義に活用させていただいております。この報告書にも、その感謝の思いの一端を掲載させていただいておりますが、皆さまからの温かいご支援に深く感謝を申し上げます。

また、岡山大学病院では、岡山大学病院COVID-19対策チームを立ち上げ、患者さんの受け入れや宿泊療養施設でのオンライン診療、コロナ後遺症専門外来の開設、ワクチン接種への協力の他、岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議や、岡山県クラスター対策班とも連携して取り組んでおり、その他診断・治療に関する研究も進めています。

現在、岡山大学は、SDGs推進研究大学として、社会のニーズをしっかりと取り入れるだけでなく、地域や企業の皆さまとの協働をより一層充実させる「共育共創」の大学院改革に取り組んでいます。その象徴的な建物として、本学の特別招聘教授である建築家の隈研吾氏の監修による木造建築「岡山大学共育共創コモンズ」を建設いたします。地域や企業の皆さまとともに、学びあい交流できる「共育共創コモンズ」は、「みんなのイノベーション空間」であり、ポストコロナに向けて皆さまとの活動拠点となります。建設にあたりまして、学都基金に岡山大学共育共創コモンズ建設支援基金を設けました。卒業生をはじめ、広く地域・社会その他諸方面の皆さまには、何卒この趣旨をご理解いただき、格別のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 岡山大学学都基金について

### ■設置目的

岡山大学学都基金は、本学における学生支援、教育・研究活動、国際交流及び社会貢献活動の一層の充実を図るとともに、新たな価値を創造し続けるSDGs推進研究大学の進展等に資することを目的として設置しております。



### ■設置経緯、募集開始

本基金は、平成20年4月に設置された「岡山大学21夢基金」を再構築する形で平成27年4月から募金を開始し、ご支援のお願いをさせていただいております。

### ■管理運営方法

岡山大学学都基金管理運営委員会で事業計画などを審議し、その決定に従って支出されます。基金の運営状況については、岡山大学学都基金のウェブサイトでご覧いただけます。

### ■支援事業について

岡山大学学都基金全般へのご寄付については、主に以下の事業支援のために活用させていただいております。

- 学生支援に関する事業
- 地域振興・社会貢献活動への支援事業
- 教育・研究活動への支援事業
- SDGs推進に関する支援事業
- 国際交流活動への支援事業
- その他基金の目的達成に必要な事業

その他、事業のご指定がある場合には、ご寄付の趣旨に沿った事業支援のために活用させていただきます。

### 【特定基金】

- 岡山大学共育共創コモンズ建設支援基金
- 修学支援基金(税額控除制度対象)
- 研究等支援基金(税額控除制度対象)
- 新型コロナウイルス感染症関連支援基金
- 異分野基礎科学研究所次世代革新科学技術展開支援基金





## 新型コロナウイルス感染症関連支援事業

### 多大なご支援をありがとうございました。

本学では、新型コロナウイルス感染症関連の緊急支援として、修学支援、大学病院支援、研究支援を中心とした支援を行うため、ご支援のお願いをいたしましたところ、卒業生をはじめ、在学生やそのご家族、地域や企業の方々など多くの皆さまからの温かいご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。

本感染症の影響は今後も長期に及ぶことが想定されます。大学として、今後とも継続して支援に努めて参ります。引き続き、ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

#### 新型コロナウイルス感染症関連支援事業へのご支援(令和2年度)

ご寄付件数 ▶

**1,052件**

ご寄付総額 ▶

**62,395,860円**

(修学支援事業へのご支援を含みます。)

## 岡山大学緊急生活支援金

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により収入が絶たれ、親族等の援助や奨学金等もなく、日々の食事の確保が困難な、真に生活に困窮している学生に対する緊急的支援として、支給対象者225人(うち外国人留学生104人)に1人あたり3万円を支給しました。

### 感謝の声

#### 「資格取得のための資金にできました」

この度は、岡山大学緊急生活支援金を頂きまして、ありがとうございました。飲食店のアルバイトができず、途方にくれていた中で、緊急生活支援金を頂けたことはとてもありがたかったです。このお金を使って資格を取得し、コロナ禍においても高時給で働くことのできる医療系アルバイトに就くことができ、現在、安定した生活を送ることができています。ご協力頂きました企業の皆様、岡山大学学都基金に寄付してくださった方々に感謝致します。

[歯学部歯学科3年(支援時)]

#### 「1日3食の食事が取れるようになりました」

昨年度、支給されました岡山大学緊急生活支援金は、私の生活にとって大変貴重なものでした。当時はお金がなく、自分の銀行口座には1,000円もありませんでした。3万円を支給されたことで、それまで1日1食だったものが、1日3食となり、健康的な生活を送ることができました。この厳しい状況下で、この支援金はとてもありがたかったです。今も健康に大学生活を送ることができているのは、寄付してくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。

[経済学部経済学科夜間主コース1年(支援時)]

## コロナがなんじゃ! WIN&WIN学生プロジェクト ①

### 岡大生の食支援 × 地域飲食店の活性化

令和2年6月1日(月)から2週間(平日の10日間)、大学近隣の飲食店9店舗と連携して、学生の夕食の支援として、平均で1日400食のお弁当を配布しました。学生が企画・実施したこのプロジェクトに対して、学都基金からお弁当代などの資金を支援しました。



▲お弁当のラインナップ(初日(6月1日))



▲お弁当100食を調達中の様子



▲日本語・英語・中国語の3か国語で掲示物を作成



▲受け取り後は速やかに帰宅する学生たち

### 感謝の声

久しぶりに豪華な食事ができてすごく幸せな気分です。お弁当配布の企画者及び関係者のみなさま、2週間にわたるお弁当配布ありがとうございました。雨の日もそうでない日も多くの学生が参加し、大変だったと思いますが、とても助かりました。感謝しております。ありがとうございました。

[学部生4年(支援時)]

この春から岡大1年生として下宿している学生の保護者です。今日、おかげさまで美味しいお弁当をいただいたと本人から連絡があり、どうしてもお礼を申し上げたくなり、ご連絡いたしました。お世話になるばかりで申し訳ありませんが、春から慣れない自炊とオンライン授業なので、今日いただいたお弁当は本当に嬉しかったようです! 心から感謝しております。本当にありがとうございました。今後のご活躍お祈りしております。

[1年生の保護者]



## コロナがなんじゃ! WIN&WIN学生プロジェクト ②

### 笑顔でつながれ! 笑顔で集まれ! 岡大生!

「学生たちに笑顔で過ごしてもらいたい」との思いから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた岡大生たちへエールを贈るため、学生たちの笑顔の写真を募集し、モザイクアート形式で表現するという、学生が企画・実施したプロジェクトに対して、学都基金から資金を支援しました。



### 感謝の声

コロナ禍で学生同士の繋がりがなかなか持てず孤独感も強く感じていましたが、今回の取り組みで学校内また多くのOB・OGの方とひとつになれたような感じがしてとても元気を貰いました。 [経済学部3年(支援時)]

感動しました! 学長から学生そして卒業された先輩方がひとつとなって作り上げた作品に、自分も協力できて本当に良かったです。コロナウイルスの影響によって入学式も無く、オンラインでの授業ばかりでなかなか大学生という実感を持っていませんでしたが、今回の取り組みで「自分はひとりじゃない!」という岡大生としての自覚も持つことができました! [農学部2年(支援時)]

## 私費外国人留学生渡日支援金

新型コロナウイルス感染症の防疫措置のため入国後14日間の公共交通機関の使用禁止及び健康観察のための待機場所での待機措置の対象となる私費外国人留学生に対し、防疫措置のために生じる経済的負担を軽減するため、88人に対して渡日支援金(1人10万円)を支給し、学都基金からその一部を支援しました。

### 感謝の声

渡日支援金をいただき、寄付者の方々のご厚意に心より感謝致します。ずっと日本への留学を希望していましたが、新型コロナウイルスの蔓延で、なかなか渡日することが困難でした。10月に、留学生が特別入国の対象になって、渡日することができました。空港の近くで2週間の待機中は新型コロナの感染を心配する一方、ホテルでの待機費用も私にとって経済的に大きな負担になりました。おかげさまで、無事に渡日して、留学の夢を叶えることができました。経済的な面だけでなく、こんなに多くの人が私を見守ってくれるのかなと思って、皆さんの温情を感じ、感動しています。最後に渡日支援金をいただきましたことに対して、深く感謝の意を表します。

[社会文化科学研究科博士前期課程1年(支援時)]

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、家の収入が激減しました。出費(旅費、交通費)はいつもよりも大きく、両親は大変な負担を強いられました。岡山大学学都基金から渡日した際の渡日支援金を頂き大変助かります。渡日支援金を利用して、学業に専念して、教育の夢を叶えようと考えています。心から感謝申し上げます。

[グローバル人材育成院 特別コース(留学生)(支援時)]

## 岡山大学病院への支援

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により、岡山大学病院においても、医療用マスクやガウン等の医療資源の枯渇や検査機器等の不足が生じたことから、ご支援をお願いさせていただきました。病院支援を目的としてご指定いただいた学都基金へのご寄付は、岡山大学病院への支援に充てさせていただいております。



▲ビデオ気管支鏡モニター



▲心臓マッサージシステム



▲搬送用人工呼吸器システム



▲サーモグラフィーシステム

- サーモグラフィーシステムを導入することで、来院者の体温測定がスムーズに行えるようになり、また検温業務に従事する職員数の削減や対応職員の安全確保につなげることができました。
- 搬送用人工呼吸器を導入したことで、他院からの移送患者を安全に搬送できるようになりました。
- 自動心臓マッサージシステム及びフライトヘルメットの導入によって、より安全で効果的な集中治療が可能となり、COVID-19など極めて感染リスクが高い感染症の重症患者に対応する医療職員数の増加及び救命率向上が可能となりました。

### 感謝の声

ご寄付により整備しました医療機器等により、当院の患者様の安全のみならず院内で働く医療従事者等の安全も確保することができ、安心して日々の業務に集中することができています。これらの医療機器等につきましては、大切に使用させていただき、引き続き有効活用に向けてまいります。ご寄付者様に心より御礼申し上げますとともに、引き続き、職員一丸となって、地域医療における最後の砦として安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

[岡山大学病院]

## 新型コロナウイルス感染症関連研究支援

三井住友信託銀行株式会社様が、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、ワクチン・治療薬の開発等を行っている大学の支援を目的として開設した「新型コロナワクチン・治療薬開発寄付口座」への本学へのご寄付に基づき、①新型コロナウイルス感染症に関するワクチン・治療薬の研究開発、②同感染症の治療方法、診断方法、検査体制等の研究、③その他同感染症を克服するための研究への支援に活用させていただいております。

- COVID-19肺炎の重症化抑制を目的としたテプレノン療法の第II相ランダム化比較探索的臨床試験(jRCTs061200002)  
岡山大学病院 講師 市原 英基
- 救急搬送用ポータブルエアロゾルシールドのエアロゾル・飛沫防御能力の検討  
大学院医歯薬学総合研究科 教授 中尾 篤典



## その他の支援事業

### 博士後期課程大学院生支援

入試の成績が優秀な学生に対し経済的支援を行うことにより、大学院博士後期課程への進学を促すために給付型の奨学金を支給しました。

- 岡山大学大学院博士後期課程就学支援奨学金(計16人)  
支給対象:平成31年4月及び令和2年4月に優秀な成績で入学した日本国籍または日本国の永住権を有する学生
- 岡山大学大学院博士後期課程遠隔地社会人学生支援奨学金(計4人)  
支給対象:平成31年4月及び令和2年4月に優秀な成績で入学し、遠隔地から通学する社会人学生

#### 感謝の声

私は、授業料等の経済的な面を心配しながらも、科学に取り組みたい一心で博士後期課程へ進学しました。しかし、岡山大学博士後期課程就学支援奨学金を受給したことで、経済的事情が大きく軽減され、現在まで集中して研究に取り組むことができました。ご支援頂いた皆様、このような貴重な基金を設立された方々に心から感謝致します。このような基金は、日本を発展させる学生達にとって大きな支えになりますので、今後とも変わらぬ温かいご支援を宜しくお願い致します。  
[自然科学研究科博士後期課程1年(支援時)]

私が博士後期課程への進学を決めたのは12月と遅く、学振やその他の給付型奨学金の申請期間は過ぎてしまっていたため、生活に困窮してしまうことは覚悟の上でした。しかし、貴奨学金に応募し、採択していただいたことで、研究活動に打ち込むことのできた1年間でした。生活のためのお金が無い状態は、かなりのストレスを抱えてしまい、時間も心もすり減らされていたはずですが、そのような状態に陥ることなく過ごせたことに、大変感謝しております。  
[環境生命科学科博士後期課程1年(支援時)]

### 学都基金奨学金(学部学生への修学支援)

令和2年度入学生からの高等教育の修学支援新制度により、学部外国人留学生を対象とした授業料免除制度が廃止となり、それに伴う特別措置として、支給要件を満たす11人の学生に対して、奨学金を支給しました。

■支給対象:令和2年10月入学のグローバル・ディスカバリー・プログラム学生

海外からオンライン授業を受講する学生▶



#### 感謝の声

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う入国規制により渡日することができなかったり、オンラインでの受講を余儀なくされたりと、さまざまな困難に直面した半年でした。大学に入学したものの日本に留学するという目標が叶わずにもどかしい気持ちになり、慣れないオンライン授業に戸惑うこともありましたが、学都基金からの経済的な支援のおかげで、学業に集中することができました。寄付者の皆様に心から感謝しています。本当にありがとうございました。  
[グローバル・ディスカバリー・プログラム1年(支援時)]

### 岡山大学校友会クラブ活動支援

岡山大学校友会の各クラブの活動において、各クラブ独自の部費では賄うことが難しい施設・設備の補修や物品・機材等の購入を中心に支援しました。



▲気化式冷風機



▲L型防球ネット



▲ロッカーダイヤル錠



▲グラウンド整備

#### 感謝の声

この度は冷風機を頂戴し、ありがとうございます。冷風機をいただいたことで、体育館の中の温度が下がり、部員一同夏場でも快適に練習に励むことができました。おかげで熱中症患者も減り、去年は冷風機のありがたみを特に感じた1年でした。今後も活用させていただきます。  
[チアリーダーWIZARDS一同]

硬式野球部は昨年、防球ネットを購入して頂きました。そのおかげで、練習が効率的に行えるようになりました。大変感謝しております。本当にありがとうございました。  
[岡山大学硬式野球部一同]

### 西日本豪雨被害復興支援(学生への奨学金等)

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害により被災し、被災により経済的に困窮している学生に対して支援金を支給しました。

#### 感謝の声

私の自宅は西日本豪雨で全壊の被害を受け、岡山大学に入学した後にやっと自宅に戻ることができました。西日本豪雨で大きな経済的被害を受けたにもかかわらず、家族は自分の夢をかなえるために1年間浪人させてくれ、無事に岡山大学医学部に入学することができました。そのように家族には経済的負担をかけてしまったので、支援金を支給していただけたことにも感謝しています。西日本豪雨で身をもって命と向き合い、医師になりたいという思いが強くなりました。大学で勉学に励んで卒業後は立派な医師になることで、被災した際に自分を支えてくれたすべての人に恩返しをしたいです。  
[学部1年(支援時)]



## 新工学部・建築教育プログラム新設支援

新工学部・建築教育プログラムの新設(令和3年4月設置)に向けて、新しい学部(学系)の認知度向上を目的とした記念シンポジウムの実施経費など、事業支援を行いました。記念シンポジウムは、新型コロナ対策の観点から、会場とオンラインの併用で開催し、当日の出席者数は、創立五十周年記念会館での出席者が200名、オンラインによる参加者が700名となりました。新工学部の環境・社会基盤系への推薦入試には、定員を大幅に上回る7.4倍の志願があり、県内外の高校生の進路選択肢として認知度の向上につながりました。



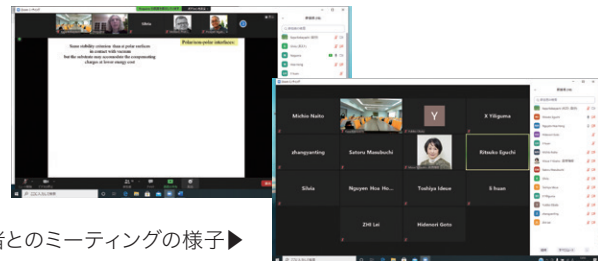
▲「都市環境創成コースの紹介」の様子



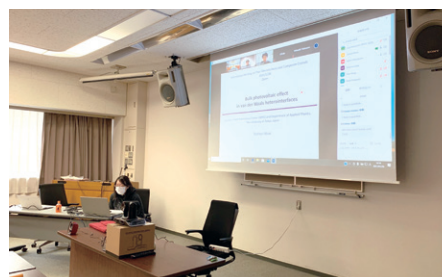
▲記念シンポジウムでのパネルディスカッションの様子

## 女性研究者支援

男女共同参画室において推進している、ダイバーシティ研究環境の実現を目指した女性教員数の増加、女性教員の上位職への登用の実現に向けて、女性研究者の研究力向上を促すための助成金制度の一部を支援しました。



参加者とのミーティングの様子▶



▲薄膜界面と複合結晶に関する国際研究会(令和3年1月25日~26日)

## SDGs推進支援

本学の「SDGs」への取組を紹介する番組制作費用を支援しました。番組を制作・放送することにより、地域社会へ岡山大学の活動状況を広く周知することができました。映像データは、本学のウェブサイトにも掲載しています。また、岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町14番1号)2階「おかやまSDGsプラザ」においても放映しています。

【映像】「瀬戸内から創る幸せな未来」~岡山大学の取り組みから考える~  
<https://www.youtube.com/watch?v=5gMKcvKoz0Q>

## 金光基金顕彰事業

金光富男様(本学2期卒業生)からいただいた寄付金をもとに、平成30年に岡山大学学都基金「金光基金」を設置し、顕著な功績のある同窓生、特に優秀な大学院生及び学部学生を顕彰することを目的として金光基金顕彰事業(金光功労賞、金光賞)を実施しています。

【金光功労賞】本学や社会に貢献し、顕著な功績や善行のあった同窓生及び教職員(退職者を含む)を対象として顕彰

【金光賞】博士課程・博士後期課程に在学中で顕著な研究業績等を上げた大学院学生、学業成績が優秀で留学等の国際的な活動に優れた学部学生を対象として顕彰



▲第3回金光功労賞授賞式の様子



▲第3回金光賞受賞者(代表者のみ)

※令和2年度(第3回授賞式)は新型コロナウイルス感染症の影響により時期を変更し、規模を縮小して開催しました。

### 受賞者一覧

#### 第3回金光功労賞被顕彰者

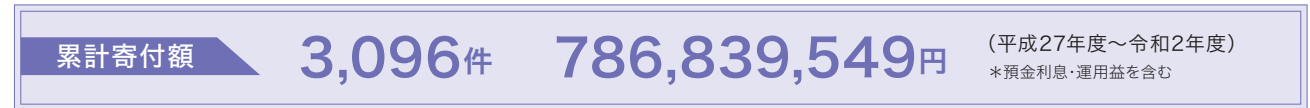
| 所属・職名       | 卒業年月・卒業学部      | 氏名    |
|-------------|----------------|-------|
| 陶浪法律事務所・弁護士 | 昭和30年3月・法文学部卒業 | 陶浪 保夫 |

#### 第3回金光賞被顕彰者(学部学生:14名、大学院生:7名)

| 学部・研究科                 | 学科・課程等        | 氏名      |
|------------------------|---------------|---------|
| 文学部                    | 人文学科          | 吉原 彩央里  |
| 教育学部                   | 学校教育教員養成課程    | 竹田 義史   |
| 法学部                    | 法学科           | 松本 颯太   |
| 経済学部                   | 経済学科          | 板森 朝香   |
| 理学部                    | 化学科           | 四方 歩美   |
| 医学部                    | 医学科           | 佐々木 寿算  |
| 医学部                    | 保健学科          | 中野 愛梨   |
| 歯学部                    | 歯学科           | 西之原 三奈  |
| 薬学部                    | 薬学科           | 今井 梨奈   |
| 薬学部                    | 創薬科学科         | 大西 智    |
| 工学部                    | 化学生命系学科       | 中山 七海   |
| 環境理工学部                 | 環境管理工学科       | 土屋 佑生   |
| 農学部                    | 総合農業科学科       | 杉野 耀亮   |
| マッチングプログラムコース          |               | 加賀美 幹   |
| 教育学研究科(修士課程)           | 教育科学専攻        | 杉田 進太郎  |
| 社会文化科学研究科(博士後期課程)      | 社会文化学専攻       | 長宗 武司   |
| 自然科学研究科(博士後期課程)        | 数理物理学専攻       | 田村 俊輔   |
| 保健学研究科(博士後期課程)         | 保健学専攻         | 鈴木 千枝   |
| 環境生命科学研究科(博士後期課程)      | 農生命科学専攻       | 黄 勝     |
| 医歯薬学総合研究科(博士課程)        | 生体制御科学専攻      | 竹之下 慎太郎 |
| ヘルスシステム統合科学研究科(博士後期課程) | ヘルスシステム統合科学専攻 | 林 実     |

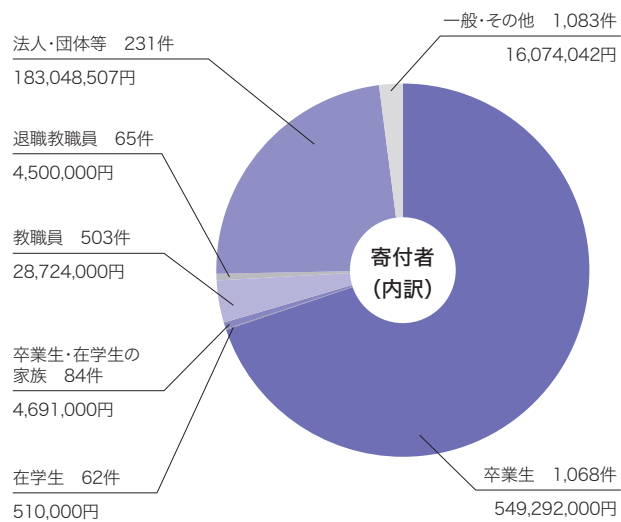
## 岡山大学学都基金 実績報告 [寄付額]

岡山大学学都基金にご寄付を賜り誠にありがとうございます。岡山大学学都基金へのご厚志は、ご寄付の趣旨に沿った本学の諸活動を支える財源として活用させていただくとともに、本学における学生支援、教育・研究活動、国際交流及び社会貢献活動の一層の充実をはかる事業の支援に充てさせていただきます。

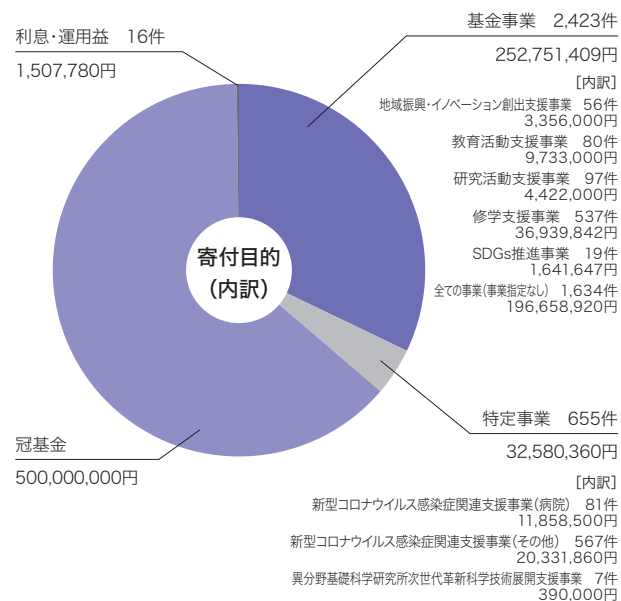


### 累計

#### ■寄付者(内訳)



#### ■寄付目的(内訳)



## 岡山大学学都基金 実績報告 [支出額]

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で当初計画していた事業が縮小したり中止となったりしたものがある一方で、新型コロナウイルス感染症の関連事業として緊急学生支援、病院の支援、研究活動への支援などを行うことができました。今後もご寄付の趣旨に沿った事業支援を行って参ります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



#### ■基金事業 34,173,954円

- 地域振興・イノベーション創出支援事業
- 教育活動支援事業
- 研究活動支援事業
- 修学支援事業
- SDGs推進事業
- その他の事業

#### ■特定事業 16,915,118円

- 新型コロナウイルス感染症関連支援事業

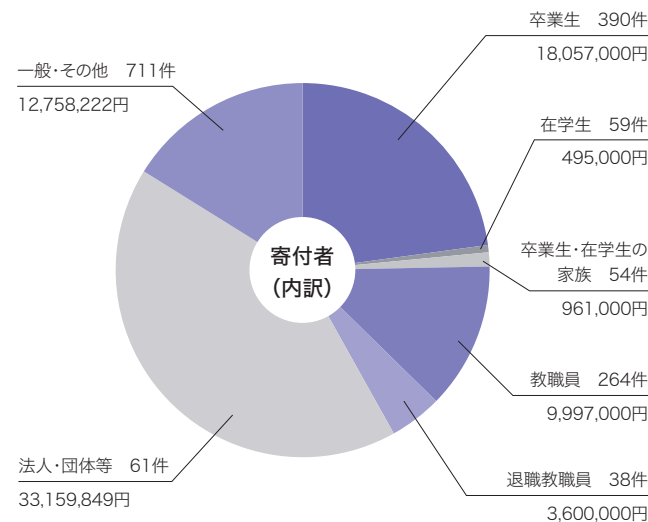
#### ■冠基金(金光基金) 9,192,999円

- 金光基金顕彰事業
- グローバル・ディスカバリー・プログラム奨学金(留学生奨学金)

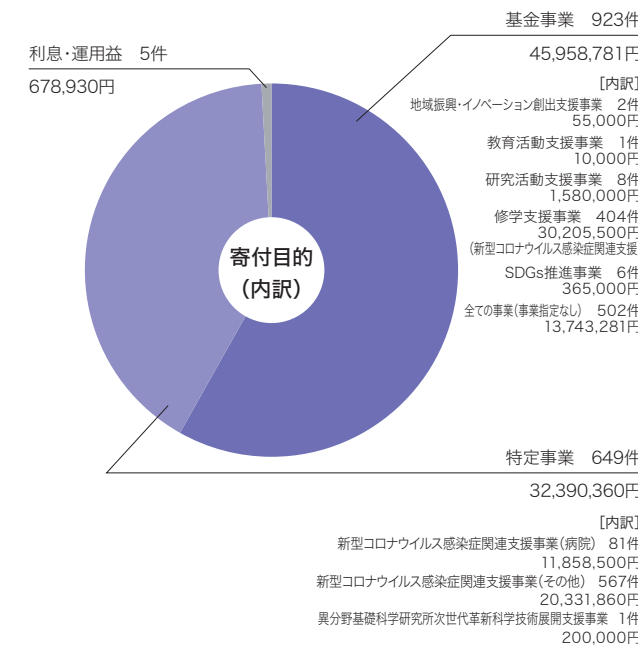


### 令和2年度収入

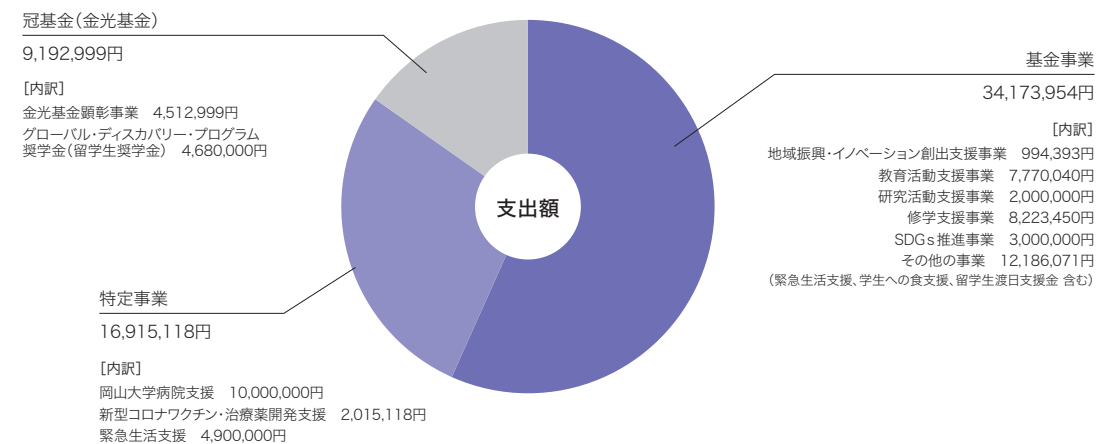
#### ■寄付者(内訳)



#### ■寄付目的(内訳)



### 支出





## ご厚意への感謝について

### ■ご芳名の掲載

ご寄付いただいた皆さまのご芳名を、感謝の気持ちを込めて岡山大学学都基金のウェブサイトに掲載させていただきます。公表を希望されない方については掲載していません。

### ■銘板の掲示

一定額以上ご寄付いただいた皆さまのお名前を、岡山大学創立五十周年記念館の銘板に刻み、末永く顕彰させていただきます。



岡山大学学都基金寄付者御芳名(銘板)▶

| プレート   | 個人        | 法人        |
|--------|-----------|-----------|
| ダイヤモンド | 1,000万円以上 | 2,000万円以上 |
| プラチナ   | 500万円以上   | 1,000万円以上 |
| ゴールド   | 100万円以上   | 500万円以上   |
| シルバー   | 50万円以上    | 200万円以上   |
| ブロンズ   | 10万円以上    | 50万円以上    |

### ■感謝の集いへのご招待

個人20万円以上、法人・団体等100万円以上のご寄付をいただいた場合、感謝の集いにお招きし、感謝の楯を贈呈いたします。



令和2年度 感謝の楯▶

### ■紺綬褒章

紺綬褒章は、国の褒章制度のひとつで、公益のために国、地方公共団体又は公益団体に私財(個人500万円以上、法人・団体1,000万円以上)を寄付した方に授与されるものです。本学では、ご寄付者のご意向を確認させていただき、文部科学省に申請することとしています。

## お知らせ

### ■「岡山大学共育共創コモンズ建設支援基金」へのご支援のお願い

本学津島キャンパス内に、令和4年11月に完成予定として、地域・企業の皆さまとの協働を一層充実させることを目的とした施設「共育共創コモンズ」を建設します。本施設の設計から施工・監理までの監修を、本学の特別招聘教授である隈研吾先生にお願いしました。「共育共創コモンズ」の建設を契機に、アフターコロナ時代に向けて、「ありたい未来を共に育み共に創る研究大学」を目指して参ります。ぜひお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



<https://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/project/commons.html>



### ■令和3年度事業計画

令和3年度は、以下の支出計画のもと、事業支援を行って参ります。

#### 【学生支援に関する事業】

- 博士後期課程大学院生支援
- 学都基金奨学金
- 学内ワークスタディ事業支援
- 岡山大学校友会クラブ活動支援

※新型コロナウイルス感染症関連

- 学生寮クラスター防止強化支援
- オンライン授業受講のためのインターネット環境確保
- 学生×地域「食」で応援プロジェクト 他

#### 【教育・研究活動への支援事業】

- 若手研究者海外渡航支援等
- 岡山大学ダイバーシティ&インクルージョン推進活動支援

#### 【国際交流活動への支援事業】

- グローバル人材育成特別コース支援[学部生の支援(奨学金等)]
- 長期インターンシップ(Co-opプログラム)等開発・実施経費

### ■ご寄付の方法

#### 払込取扱票によるご寄付

本学指定の「払込取扱票」に必要事項をご記入のうえ、ゆうちょ銀行の窓口または払込機能付きATMからお振込みください。振込手数料は不要です。別途、「払込取扱票」をお送りいたしますので、岡山大学学都基金事務局までご連絡ください。

#### リサイクル募金によるご寄付

読み終えた本やDVD等をご提供いただき、その査定換金額が岡山大学学都基金に寄付される仕組みです。申込受付から査定・報告および送金は「リサイクル募金きしゃぼん」(運営: 嵯峨野株式会社 お問合せ: 0120-29-7000)が担当します。

[岡山大学リサイクル募金](#) 🔍 検索

#### オンライン決済によるご寄付

岡山大学学都基金のウェブサイトから、オンライン決済(クレジットカード決済・コンビニ決済・ペイジー決済)によるお手続きが可能です。

[岡山大学学都基金](#) 🔍 検索



#### 遺贈によるご寄付

遺贈による寄付制度は、資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々に対して、本学が金融機関と提携して手続きの便宜を図らせていただく制度です。本制度のご利用を希望される場合は、岡山大学学都基金事務局までご連絡ください。

提携金融機関: 三井住友信託銀行、中国銀行